



◆ 関東大震災から100年 ◆

当時の状況を知る日記や写真などの資料と、日頃の備えや防災に関する資料を展示しています。大井町の歴史の棚にも『於保為第三十八号』（震災回顧録 原文及び現代語版）ほか郷土資料もあります。ぜひご覧ください。

1923年（大正12年）9月1日（土）11時58分
神奈川県西部 北緯35度19.8分 東経139度08.1分 深さ23km
マグニチュード7.9の地震が発生しました。現在の震度7と推定されています。
発生が昼食の時間と重なったことから、多くの火災が起きて被害が拡大しました。

『大井町史 別編 自然』（大井町の地形・地質と地下水/大井町）に、
「当初、相模湾の海底とされていた震源の位置を1996年再計算すると、震源（断層の最初の破壊点）は、松田から大井町に求まっている」と記されています。
参考：大井町役場 北緯35度19.25分 東経139度09.37分 松田町役場 北緯35度20.53分 東経139度08.22分

「下から突き上げる揺れに対して、人間が対処できる時間はありません。大地が揺れ動く10秒後には、火災が同時多発的に発生します。特に注意するのは、地震に因る土砂崩れで川音川と酒匂川に洪水が起ったという事実です。その時、何もできないことを、まず念頭において、生存のための方策を考えるのが必要だと思います。」（『於保為第三十八号』/大井町郷土史研究会）

<夏休み図書館員体験よりおすすめの本の紹介>

小学生の図書館員体験児童おすすめの本

高校生のインターンシップおすすめの本



幼稚園職場研修吉田先生おすすめの本
『雨降る本屋』、『おおかみこどもの雨と雪』、『大盛りワックス虫ボトル』、
『オーデュボンの祈り』、『こども電車』、『No.6 #1』、『耳をすませば』、
『さんびきのこぶた（LLブック）』、『そらまめくんのおやすみ』、『なでなでももんちゃん』

※読んでおもしろかった本を教えてください。

「本との出会いを広げたい」という願いを込めて、より多くの利用者様からの投稿をお待ちしています。